

## ・アレルギー性鼻炎に対する減感作療法【免疫療法】について

### 当院でのアレルギー性鼻炎に対する治療方針

当院ではアレルギー性鼻炎のガイドラインに沿って治療法を選択しています。治療の大きな柱は4つで、抗原回避 薬物療法 免疫療法（減感作療法） 手術療法があります。

### 抗原(アレルギーの原因物質)回避

理論的に、アレルギー性鼻炎は原因となる物質を吸い込まなければ症状はおきません。ガイドラインではすべての重症度の方が適応になります。原因がハウスダスト(ダニ)の場合は、お部屋をこまめに掃除をする、寝具をほすなど、また原因がスギ花粉の場合は、外出時にマスクを使う、花粉情報を参考に多い日は外出をひかえるなど指導します。

### 薬物療法

最も一般的な治療法です。抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、ステロイド点鼻薬等が主に使用されます。単独で使用したり、重症度によっては組み合わせて使用したりします。

### 免疫療法(減感作療法)

今ある治療法の中では唯一根本的な治療法となりえるものです。有効率は80%ほどあります。原因となっている抗原のエキスを、少量から徐々に増量して注射を続ける方法です。数年間の長期にわたる通院が必要なこと、ごく稀に注射による副作用で全身にアレルギー反応が生じるなどのデメリットがあります。

### 【免疫療法の実際】

#### a 原因抗原の特定

治療開始するにあたり原因となる抗原の特定が必要です。受診時に血液検査、鼻汁好酸球検査等を施行し、抗原を特定します。当院で治療可能な免疫療法はハウスダスト、スギ花粉なのでそれ以外の抗原は免疫治療ができません。

## b 治療にかかる期間

免疫療法は根治的な治療法ですが、早期には効果は期待できません。治療効果が出現するまで半年以上かかります。効果出現までは1 - 2週間に1回の通院が必要です。また、十分な効果が出現するまでは2-3年かかります。効果が出現するまで、アレルギー性鼻炎の症状悪化時は、免疫治療をしながら、内服や点鼻による局所コントロールを行っていきます。

## c 治療のメリット、デメリット

冒頭でも申し上げたようにメリットは、根治的で効果が出現した患者さんは内服、点鼻薬が不必要になり、通院しなくて済むようになります。また、手術を組み合わせた免疫療法によって、更なる効果が期待できます。ただ、デメリットとして非常に稀ですが、治療期間中に全身のアレルギー反応が出現することがあります。

## d 治療にかかる費用

1日の診察&治療で3割負担で1000円前後です。持続して処方が必要な内服や点鼻処方に比べれば安く済みます。

## e 適応

年齢は基本5歳以上を対象にしています。ただし、重症喘息を合併している方やβブロッカー(降圧剤)を内服されている方は非適応です。免疫療法の維持期に妊娠されるのはOKです。

## f 治療困難な場合

治療中、お仕事やその他の理由で治療継続が困難になった場合、治療の中止は全く問題ありません。また、他の治療法(手術療法、薬物療法)への切り替えも可能ですし、免疫療法を再開する事も可能です。

## g 治療日

当院での免疫療法の治療日は、毎週火曜日、木曜日午後からとなっています。最初の受診のみ午前中(月曜日～金曜日)に来院していただきます。診察時間ですが、初回と2回目の診察は1-2時間程度かかりますが、減感作療法を開始してからは30分程度で済みます。

## 手術療法

上記治療が効果ない場合、また上記治療に併用して手術加療を行います。外来でも可能なレーザー治療は有効率は80%前後で、疼痛、出血等の合併症もほとんどなく安全にできる治療です。効果がきれても繰り返すこともできます。また1週間の入院が必要ですが、さらに効果の期待できる下鼻甲介粘膜下骨切除術、後鼻神経切断術も当院で施行しております。